



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しるくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.34
2015.1.17発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第34号 発行日：2015年1月17日 発行者：原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://nagano-child.jp/> kodomo@pref-nagano-hosp.jp

日本医療機能評価機構
当院は日本医療評価
機構の認定病院です



撮影：大畑 淳

長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。



Contents

新年のご挨拶	1
ちるくま生活とちるくまダンサーズ	2
院内学級展が開かれました！	3
クリスマス会を行いました	3
クリスマスツリーを飾りました	4
光のページェント	4
「小児在宅医療連携拠点事業 ホームページ」を開設いたします	5
院内研修会予定	5
編集後記	5

新年のご挨拶

病院長 原田 順和



平成27年がやってきました。皆様、あけましておめでとうございます。本年も、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、去年は2月の大雪に始まり、8月の集中豪雨、そして、9月の御嶽山の噴火、11月の白馬神城断層地震など、県内でも災害の多い年になりました。

そのような中、長野県立こども病院では、“未来を担うこども達のために、安全で質の高い医療を行います”という理念の実現に向けて、職員一同、力を注いでまいりました。

昨年4月からは、社会的にも大きな問題となっているアレルギー疾患に対する体系的な診断治療を開始しました。アレルギーは、学校給食で死亡事故が発生するなど、早急に対応しなければならない問題だと考えています。こども病院だけでできることは限られていますが、アレルギー専門医を中心に、看護部、栄養科などチームを作って、対応しています。

一昨年来課題になっている小児集中治療室の病床不足問

題は、基本設計や資金面での検討が進み、いよいよその姿が見えてきました。

また、厚生労働省から指定を受け、長野県から委託を受けている小児等在宅医療連携拠点事業は、2年目を迎え、少しずつではありますが、こども病院が地域に出て行き多職種連携の輪を作ること、一步一步前進しています。

秋には、第6回こども病院祭が開催され、一昨年の第5回病院祭で登場した長野県立こども病院のキャラクター“ちるくま”のダンスがお披露目されました。ご存知の方も多いかとは思いますが、このダンスの曲は当院の診療科医師によるもので、プロの振付師の方が踊りを考えてくださいました。“ちるくま”を中心に軽快な曲が流れる中でのダンスは、こども達はもちろんのこと、多くの人たちの人気の的になっています。今後も、長野県立こども病院の活動を多くの人々に知っていただくための一つのツールになってくれればよいと思っています。

今年の冬は、思いのほか早く訪れたようです。冬の寒さに負けないよう、長野県立こども病院は、職員一同こども達のために小児周産期医療の最後の砦としてお役に立てるよう努力してまいり所存であります。どうか、これからも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、皆様方にとって、新しい年がすばらしい年になることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

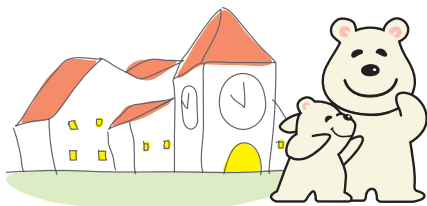
ちるくま生活とちるくまダンサーズ

日本を代表する振り付け師である南流石（みなみさず）さんをお招きし、当院マスコットキャラクター「ちるくま」の歌とダンスイベントを病院祭で開催しました。

テーマ曲名は「ちるくま生活」。こども病院の入院生活を歌った歌です。

入院しているお子さんにとって、入院生活は日常生活です。ご飯を食べたり、はみがきしたり、テレビを見たり、おふろにはいたり。でもここは病院。普通の生活と違って、毎日治療があります。子供達はみんな本当に頑張って治療を受けてくれています。

そんなみなさんの力になれるように、この曲をつくりました。南流石さんが本当に楽しい振り付けをしてくださいました。ダンサーズの保育士さん、看護助手さんも願いをこめて踊っています。コーラスは院内学級のみなさんにも参加して頂きました。みなさん是非一緒に踊りましょう。



動画はこちらです。

https://www.youtube.com/watch?v=Nlrsd_p8rhw
あるいはyoutubeで「ちるくま」で検索



ちるくま生活

振り付け：南流石
作詞・作曲・編曲：藤田研也（形成外科医師）
歌：かいし&さあや
コーラス：院内学級の生徒さん

ダンス：ちるくまダンサーズ
（病院保育士と看護助手：さゆりん、まこりん、めぐちゃん、さつき、かよぴー、りっちゃん、よっちゃん、あっちゃん、ひろりん）
企画：流石組 [藤田研也・澁谷聡一（小児外科医師）]

☆ちるちるちるちる

ちーるくま ちーるくま ちーるくま
ちるちるちるちる
ちーるくま ちーるくま ちーるくま

※きょうはうたって

あしたはおどって
あさってはハグして ちるくま生活

今日のおさごはん なんだろう

ぼくの大好きな 玉子焼き
ほかほか あまくて ふわふわ のこさずたべるんだ
はみがきタイムだよ おふろの時間だよ
テレビもみちゃおかな 今日もおやつ おいしい！

※くりかえし

（間奏）

☆くりかえし

毎日 ちりょうは ちょっぴり つらい
それも ちるくま生活
だいじなことだと わかっているんだ
ちゅうしゃもチックン ちょっとだけ がんばろう

※くりかえし 2回

院内学級展が開かれました！

平成26年11月16日（日）、17日（月）に、南会議室で院内学級展を開催しました。

院内学級展は、基本的に外部からお客様が見えられません。院内の方を対象にした院内学級の紹介・交流の場です。当日は、児童・生徒の作品の展示&3つのワークショップに、多くの入院患者さん・保護者の皆さん・病院関係者の方々に参加していただきありがとうございました。

当日の様子をご紹介します。



デジカメ～
スクラップ
ブックング

なお、3つのワークショップは（不定期ながら）院内学級展以外にも開かれますので、興味のある方は、院内学級職員までお問い合わせください。



児童・生徒の作品展示



信濃美術館～色つき粘土の造形



お習字の先生とF先生

クリスマス会を行いました

ボランティアコーディネーター



12月19日（金）午後6時30分より、病院内大会議室において、2014年クリスマス会を行いました。

原田院長先生の挨拶ではじまり、院内学級の皆さんによる「きよしこの夜」と「生命のいぶき」の合奏発表がありました。近隣の小学校・中学校の先生方も合唱に加わり、盛り上げていただきました。

その後、院内保育士が「ちるくま体操」のデモンストレーションをしてくださいました。この体操は、院内の医師が作詞・作曲した楽曲に南流石さんが振り付けをしてくださいました。南流石さんは「おしりかじり虫」や「くまもん」の振り付けで有名な方で、みんなが楽しみながら必要な運動ができるような動きを取り入れてくださいました。こども達もご家族の皆さんもスタッフもゲスト出演のちるくまと一緒に体操しました。

絵本作家でもあり、イラストレーターでもあるMAYA MAXX（マヤ・マックス）さんのパフォーマンスでは、MAYAさんがはなしをしながら、絵を描いていく様子にみんなすっかり引き込まれ、どんな絵になるのか見守りました。かわいいサンタクロースワんちゃんの絵ができあがると、今度はそのまわりにマジックを手にした子ども達が思い思いに好きな絵を描いていきました。

最後にみんなで「ジングルベル」と「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いました。ピアノの伴奏はこの日のために練習を積んできた男子高校生の患者さんが引き受けてくださり、素晴らしい演奏にみんな感動しました。

大勢の患者さん、ご家族の皆さんが病棟から出てきて参加して下さり、とても賑やかで楽しいクリスマス会になりました。

クリスマスツリーを飾りました

今年もエントランスホールにクリスマスツリーを飾りました。ホールの中が少し華やかになりました。



光のページェント

サービス向上委員会 奥原真澄



子ども達にとって楽しい12月がやってきました。私達職員もクリスマスを病院で迎える子ども達に、心がわくわくするひと時を感じてもらいたいと思っています。

毎年、病院職員が細々とイルミネーションを飾りつけてきましたが、次第に電球が切れたりして寂しい飾りになりつつありました。「今年はどうしたものか？」と思案していたところにうれしいお話をいただきました。

皆さんは豊科の「ビレッジ安曇野内」に毎年見事なイ

ルミネーションが飾られているのをご存じですか？その「Azumino.光のページェント実行委員」の皆様が夢のような飾り付けをしてくださいました。中庭のイルミネーションは入院中の子ども達と職員だけが見ることができる特別なものなのです。(決して外からは見えません)

仕事が終わった後眺めると、こころもほっと温まるのではないのでしょうか。短い期間ですがお楽しみください。

「小児在宅医療連携拠点事業ホームページ」を開設いたします

小児等在宅医療連携事業ホームページを開設いたします。平成24年度の振り返り、平成25年度事業内容のご報告、平成26年度事業活動予定を掲載しています。

今年度の活動実績についても随時、更新していきますの

でよろしくお願いたします。

(開設の際は、当院ホームページにてお知らせいたします。)

長野県立こども病院 院内研修会予定

「エキスパートに教わる小児腹部超音波セミナー」

講師：茨城県立こども病院 臨床検査科長兼超音波室長 浅井宣美 先生
小児科 小野友輔 先生

日時：1月23日(金) 17時30分～19時00分 / 1月24日(土) 8時00分～12時00分

場所：23日 北棟2階会議室 / 24日 南棟2階大会議室

内容：超音波検査は低侵襲、無被爆、そして繰り返し行えるという理由から小児科医にとって必須の技術です。今回、日本小児超音波研究会理事の浅井先生と普段から超音波を積極的に用いた診療を実行されている小野先生にご講演していただきます。超音波の有用性について、頻度の高い病気から珍しい病気まで症例を交えながらお話をうかがいます。土曜日午前にはハンズオンセミナーも予定していますので併せてご参加ください。

研修主催者：林大祐(後期研修医)

*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

「小児における漢方薬について」

講師：外房こどもクリニック 黒木春郎 先生

日時：2月4日(水) 17時30分～19時00分

場所：北棟2階会議室

内容：一般小児医療に漢方薬を取り入れている黒木先生に、小児科領域における漢方薬の使用についてわかりやすく解説いただきます。

研修主催者：尾川陽(後期研修医)

*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

編集後記

あけましておめでとうございます。今年は12年に一度の末年です。「羊年」とは書かない「末年」です。年男、年女の方々だけでなく、このニュースレターを読んでいた全員の皆様もきっとよい年になることでしょう(根拠はありませんが・・・)。

さて、昔から正月はめでたいものだと言っているのにひねくれ者はいるようで、「門松は冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし」という狂歌が残っています。確かにこれはひねくれています。とはいえ、人と違う発想で物事を見ることができるとはなかなか見上げたものです。常識を疑ってかからねばならない科学者にとって模範的な態度ともいえます。こう考えると身の回りにいるひねくれ者も案外世の中の役に立つ人材なのかもしれません。

友達になりたいかどうかは別の話ですけどね。

小木曾

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成27年1月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	渡邊 佳洋	高橋 淳(PM) ^{※1}	松原 光宏 藤岡 文夫(AM) 加藤 博之 ^{※2}	松原 光宏(AM)	松原 光宏
	小児外科		畑田 智子(AM) 好沢 克(AM) 高見澤 滋(PM)	高見澤 滋(PM)	畑田 智子(AM) 好沢 克(PM)	
	眼 科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練(AM)
	総合小児科	張 慶哲(AM) 笠井 正志(PM)	樋口 司	樋口 司(PM) 笠井 正志(PM) ^{※4}	張 慶哲(AM)	樋口 司(AM)
	総合小児科 アレルギー外来	小池 由美(PM)		小池 由美(AM)		
	総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	竹内 浩一(AM)
	血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元(AM)		
	血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫	坂下 一夫(AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	柳沢 龍
	循環器科 (内科・外科)	梅津健太郎(AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 中野 裕介 (内科)	原田 順和(AM) 梅津健太郎(AM) (外科)	安河内 聰 田澤 星一 中野 裕介 (内科)	瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)
	循環器科 成人移行期外来		元木 博彦			
リハビリテーション科					笛木 昇(AM)	
精神科 こころの診療科			本田 秀夫(1/14)		原田 謙 ^{※5}	
北棟外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり(AM)	市野みどり(PM)
	神経小児科	平林 伸一 ^{※6} 福山 哲広	平林 伸一 ^{※6} 福山 哲広(PM) 奥野 慈雨	平林 伸一 奥野 慈雨(AM)	奥野 慈雨(AM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋 ^{※7}
	新生児科	溝上 雅恵(AM) ^{※8} 小田 新(AM) ^{※8} 亀井 良哉(AM) ^{※8} 中村 友彦(PM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒		野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	野口 昌彦(PM) 丸山百合子	野口 昌彦(PM) 杠 俊介(PM) 藤田 研也(PM) 永井 史緒(PM)
	総合小児科				笠井 正志(PM) ^{※3}	
	麻酔科	大畑 淳(AM)				大畑 淳(AM)
	皮膚科				芦田 敦子(AM)	
	遺伝科	古庄 知己 ^{※10}	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子(AM) 泉 幸佑(PM) ^{※11} 高野 亨子 ^{※12}	西 恵理子(AM)
	耳鼻咽喉科		下記 ^{※13}		出浦美智恵	
	循環器小児科 胎児心臓外来		田澤 星一	松井 彦郎	瀧間 浄宏	安河内 聰
	産 科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
	リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏(AM) 笛木 昇(PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳(AM)	笛木 昇(PM)

※1 整形外科の高橋医師は第2、4週の診察となります。 ※2 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。

※3 木曜日の笠井医師は、午後4時～5時の間だけ予防接種相談外来になります。

※4 笠井医師は、ワクチン接種になります。

※5 精神科(こころの診療科)原田医師は第3、5週の診察となります。外来の初診は、受付していません。

※6 月・火曜日の午前 平林医師は発達障害専門外来です。 ※7 胃瘻・中心静脈栄養外来です。

※8 溝上医師は第1週、小田医師は第2、4週、亀井医師は第3週、第5週は溝上医師、亀井医師が交代での診察となります。

※10 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。

※11 遺伝科の泉医師は第2、4週の診察となります。 ※12 遺伝科の高野医師は第3週の診察となります。

※13 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。

★診察時間：午前9時～午後4時

★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話

0263-73-5300